

子ども達の口腔機能発達を診る



講師 **岡 暁子 先生**

福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野教授

日時 **2月22日(土)18時~20時**

会場 **九州ビル9階 (福岡市博多区博多駅南1丁目8-31)**

定員 **190名**

参加費 **※会員無料**

未入会の勤務医は参加費1万円。当日までに入会の場合は参加費無料。
勤務医のスキルアップとして勤務医の先生にもご案内ください。

【プロフィール】

福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野 教授

福岡歯科大学 医科歯科総合病院 小児歯科 科長 / 小児口腔外傷センター センター長

【学歴】

1997年 九州大学歯学部卒業

2001年 九州大学大学院歯学研究院修了(歯学博士)

2001年 九州大学歯学部附属病院 研修医

2003年 九州大学歯学部附属病院 医員

2004年 南カリフォルニア大学 歯学部研究員

2007年 九州大学病院 小児歯科 医員

2008年 日本大学歯学部解剖学第2講座 専修研究員

2009年福岡歯科大学 生体構造学講座機能構造学分野 医員

2010年福岡歯科大学生体構造学講座機能構造学分野 助教

2011年福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 講師

2015年福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 准教授

2022年福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 教授

現在に至る

【岡先生から】

「口腔機能発達不全症」が子ども達の口腔における新たな疾患として定義されてから6年が経過しようとしている。令和6年3月には、日本歯科医学会より「口腔機能発達不全症に関する基本的な考え方」が发出され、チェックリストの各項目に関する評価基準がアップデートされた。

形態の変化を伴う齲蝕や咬合治療と比較すると、機能に関する治療は、我々医療従事者も患者もその改善の実感をクリアに得にくい。口腔機能発達不全症の治療は、成長に伴い自然と出来るようになるはずだったことを教育するハビリテーションであることから、一度出来ていたことを再び出来るように回復させるリハビリテーションとは異なるアプローチが求められる。治療の継続には、成長発達を加味した評価基準を充実させ、ステップアップを実感させられるシステムが求められる。

本講演では、口腔機能発達不全症におけるチェックリストに沿って、我々の診療室で行っている各診察項目の評価方法と対応についてご紹介し、口腔機能発達不全症のゴール設定について考えてみたい。

👉 返信先 **FAX : 092-473-7182**

会員：

医療機関：

TEL：



未入会の勤務医は
QRコードから
お申込みください。